

令和3年1月25日

保護者様

鳥栖市立麓小学校
校長 西川 哲也

令和3年度からの「成績2期制（通知表の年2回発行）」の実施について

保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに心よりお礼申し上げます。

さて、「成績2期制（通知表の年2回発行）」については、東京都や都市圏では以前から導入され、その成果が実証されており、佐賀県内においてもすでに武雄市や嬉野市、白石市の全小中学校及び、佐賀市、鹿島市、杵島郡の一部の学校等で実施されている状況です。また、鳥栖市内においても、今年度から鳥栖西中学校と旭小学校で導入されており、学校教育の更なる充実に向けての取組が進められているところです。

そこで、本校におきましても、小中一貫教育の充実を図り、鳥栖西中学校区3校で足並みを揃え、児童が将来にわたって質の高い教育を受けることを基本に、来年度から下記のとおり「成績2期制」を実施することといたしました。

保護者の皆様におかれましては、世の中が大きく変化をしている中、学校も変革の時にあること、そして子供たちのよりよい成長を願っての方策であることをご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

記

1 具体的な変更点

- (1) 学習・生活に関する評価期間を、3期制（第1・2・3学期での評価）から2期制（予定：前期4月～10月上旬、後期10月中旬～3月）にします。

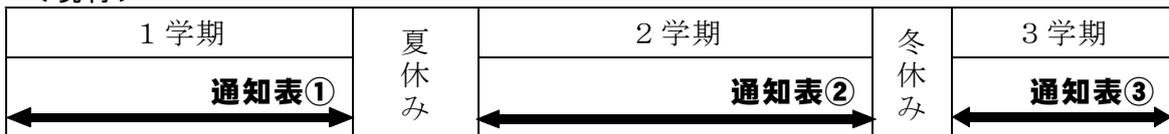
ただし、3学期制（4・9・1月に始業式、7・12月に終業式、3月に修了式）の変更はありません。

※ 「学期制」については市の規則で決められるものであり、学校単位で変更することはできません。そこで、学期はそのまま、学校運営上、通知表については前期・後期の2期制をとることとなります。

- (2) これに伴い、通知表の発行を年3回（各学期末）から年2回（10月上旬と3月）にします。

- (3) これまで行っていた1学期のまとめのテストは、前期のまとめとして2学期初め（8月下旬～9月上旬）に実施します。

<現行>



<成績2期制>



2 成績2期制への変更理由（変更の利点等）

- (1) 現行の3学期は、登校日が50日程度と短期間で、3学期の成績評価が十分に行えず、通知表の発行自体がやや形式的になっている傾向があります。
- (2) 1学期末の成績は、実質、ゴールデンウィーク明けの5月中旬から7月初めまでの期間で評価するため、現在は7月に入ってから通知表を作成しています。しかし、1学期の終業式が7月20日（年によっては18日や19日）であることを考えると、7月は、担任がじっくりと児童にかかわったり、時間をかけて通知表作成を行ったりすることが難しい状況があります。
- (3) 前期のうちの4月～7月の評価を夏季休業中に、後期のうちの10月中旬～12月の評価を冬季休業中に行うことで、じっくりと児童に向き合ったり、時間をかけて児童のよさや課題・今後の手立てを考えることができます。
- (4) 通知表の成績は、テストの結果だけではなく、日頃の学習の様子やノート・ワークシート・作品・学習課題の提出なども評価対象になるので、評価期間が長くなることで、よりきめ細かな評価を行うことができます。
- (5) 前期〔後期〕の評価のまとめを9月〔3月〕に実施することで、夏季休業等〔冬季休業等〕を活用した自主学習や学習課題等による児童の伸びを、これまで以上に評価に反映することができます。
- (6) 学校行事を組みにくかった7月や12月を活用することができるようになり、学校の教育活動全体にゆとりを生み出すことができます。それにより、学習・生活をこれまで以上に充実させたり、教師と児童がふれあう機会が増えたりすることが期待できます。

3 不安への対応

- (1) 今まであった夏休み前の評価（通知表の発行）がないことで、不安を抱く保護者の方がおられるかもしれません。そこで、7月下旬に個人懇談期間を設け、4月～7月までの学習や生活について、手元にある記録や写真、作品などの具体的な資料を使って直接、保護者様に説明をします。
- (2) 1学期の評価がないことで、「夏休みにやる気をもって学習課題をしないのではないか。」という不安を抱く保護者の方もおられるかもしれません。これについては、(1)の個人懇談で4月～7月の学習や生活の様子を伝えることで解消できると考えます。
また、2学期初め（8月下旬～9月上旬）に前期まとめのテストを行うので、夏休みを活用した自主学習や学習課題等による児童の力の伸びを、今まで以上に評価に反映することができます。
- (3) 「年間のテストの回数が減るのではないか。」という不安もあるかもしれませんが、年間で指導する内容が減るわけではなく、テストは成績2期制の教育課程に応じた形で実施できるので、大きく変わることはありません。また、日常の小テスト等もこれまでどおり行い、一人一人の状況を把握しながら指導に生かしていくことは、変わらないものと考えます。